

松前町

議会だより

No.113

2022年5月1日発行

愛媛県伊予郡
松前町議会

3月定例会



第3回中学生ホッケー交流大会 「まさきカップ」 令和4年3月27日

P 4 一般会計当初予算約112億円始動 **町債にも注目!**

P12 **教育・環境・防災・農業** に関して、
町政を質す

松前町
議会中継
[録画]



3月定例会に提出された議案は、以下のとおりです。

可決

議案番号	議案内容
1	長期化する新型コロナウイルス感染症の影響により困難に直面している住民税非課税世帯等の生活・暮らしの支援を行うため、 令和3年度一般会計予算への補正(11回目)として4億3542万5千円が増額されました。(承認)
2	デジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律により関係する法律の廃止・統合に伴い、 松前町個人情報保護条例の一部を改正しました。
3	町長の附属機関として松前町中小企業振興審議会を、教育委員会の附属機関として松前町通学路安全対策実践委員会を新たに設置するため、 関係する条例の一部を改正しました。
4	厳しい財政状況に鑑み、財政基盤の安定化を進めるに当たり、引き続き町長の姿勢を示すため、 町長の給与の特例に関する条例の一部を改正しました。町長の給料月額10%減額する期間を令和5年12月10日までとします。
5	人事院勧告及び愛媛県人事委員会勧告を考慮し議員及び職員の期末手当を改定するとともに、新たに職員を東京都特別区に派遣することに伴い、派遣地域における民間の賃金水準及び物価等を考慮し地域手当を支給するため、 関係する条例の一部を改正しました。
6	政府が実施する「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」を受けて保育所、児童クラブ及び幼稚園に勤務する職員の処遇改善を行うため、 松前町保育所職員等の給料等に関する特別措置条例を新たに制定しました。
7	総務部長の職にある者に固定資産評価員を兼ねさせることについて、地方税法に基づき議会の同意を包括的に得るため、 関係する条例を改正・廃止しました。
8	法律の一部改正により犬及び猫のマイクロチップ装着制度が創設されることに伴い、マイクロチップを装着した犬は鑑札の交付が不要となるため登録に係る手数料を徴収しないこと、マイクロチップを取り外した犬は鑑札を再交付することから規定の整備を図るため、 松前町手数料条例の一部を改正しました。
9	消防団員の報酬を見直し処遇改善を図るとともに、消防団員の懲戒規定を整備するため、 松前町消防団条例の一部を改正しました。
10	主に保育士等処遇改善臨時特例補助金、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策による松前公園・文化センターの休業要請期間に対する補償により、 令和3年度松前町一般会計予算への補正(12回目)として2億3593万4千円が増額されました。
11	令和3年度松前町国民健康保険特別会計予算への補正(5回目)として5000万円が減額されました。
12	主に介護サービス等給付費増により、 令和3年度松前町介護保険特別会計への補正(4回目)として3448万1千円が増額されました。
13	令和3年度松前町水道事業会計予算への補正(1回目)として1億1500万円が減額されました。
14	令和3年度松前町下水道事業会計予算への補正(1回目)は、他会計負担金減収、同額が他会計負担金・補助金増収となりましたが、歳入歳出とも合計額の増減はありません。
15	令和4年度松前町一般会計予算として111億8218万6千円(前年度比2.2%減)が計上されました。 前年度に増して既存の経常的経費等について更に創意工夫による節減に努めるとともに、選択と集中により限られた財源を真に必要な事業に重点配分しました。このような厳しい財政状況ではありますが、新たな行政課題や社会経済情勢の変化に的確に対応するため、第5次松前町総合計画に掲げられている各種施策に着実に取り組み、「生きる喜び あふれるまち まさき」を目指します。

16	令和4年度松前町国民健康保険特別会計予算として32億4123万4千円(前年度比3.3%減)が計上されました。
17	令和4年度松前町後期高齢者医療特別会計予算として5億812万5千円(前年度比5.8%増)が計上されました。
18	令和4年度松前町介護保険特別会計予算として、 保健事業 29億5997万1千円(前年度比5.1%増) 介護サービス事業 1160万1千円(前年度比0.6%減) が計上されました。
19	令和4年度松前町水道事業会計予算として、 収益的支出 4億6516万1千円 資本的支出 11億1068万9千円 が計上されました。
20	令和4年度松前町下水道事業会計予算として、 収益的支出 4億3307万5千円 資本的支出 3億4370万2千円 が計上されました。
21	松前町教育委員会委員に、渡部 敏夫氏(大溝)が再任されました。(同意)

※ 議案番号15以外は、全員一致で可決

賛否が分かれた議案

○：賛成 ●：反対

議員名 議案番号	西村	渡部	曾我部	影岡	田中	住田	稲田	加藤	藤岡	村井	岡井	伊賀上
15	○	○	●	○	○	○	○	—	○	●	○	○

※議長は採決に加わらない。

(仮称)松前町浄水場整備事業の予算減額について(議案第13号に関するもの)

- 内容 令和3年度予算 1億1500万円の減額
理由 発注方式等の検討に日数を要し、年度内の実施が見込めなくなったため。
※そのため、(仮称)松前町浄水場の供用開始予定が遅れる。



現状写真

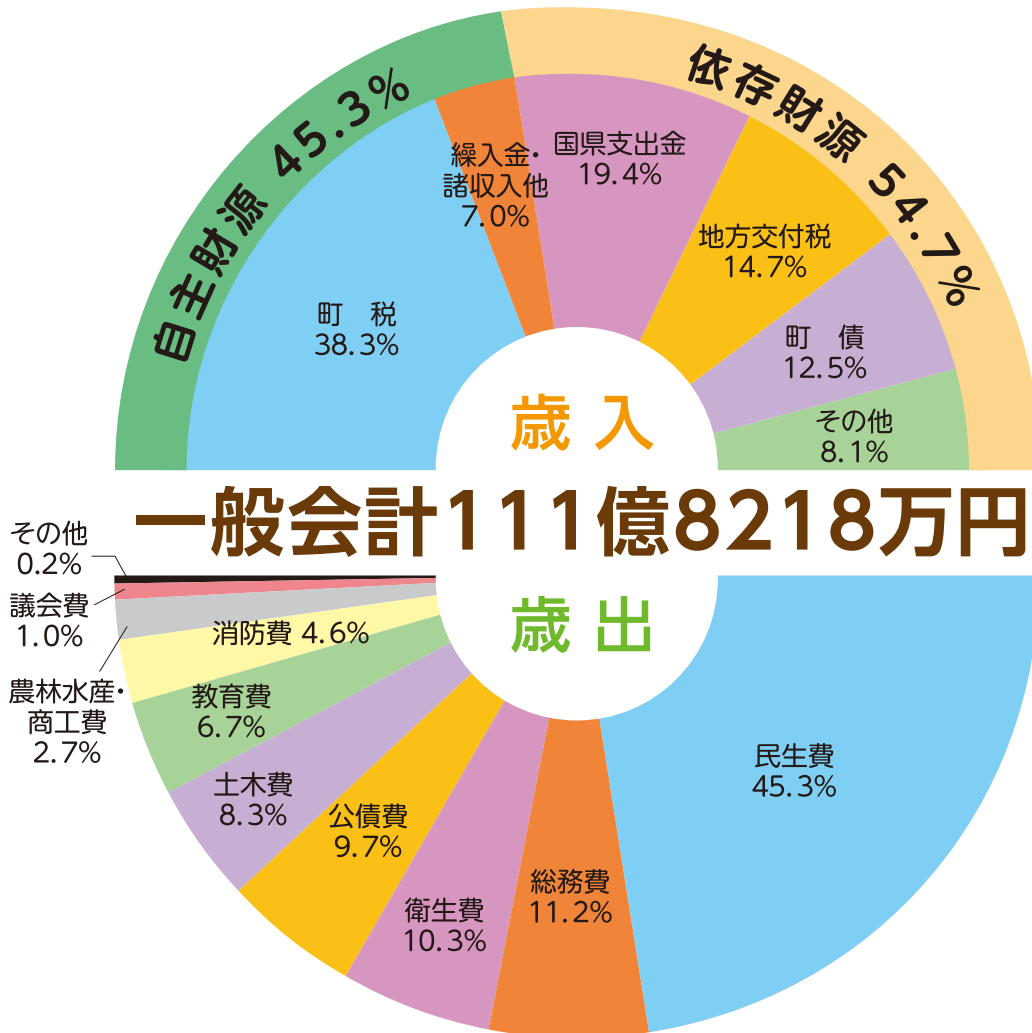
(仮称)松前町浄水場整備事業 全体工程表(案)

項目	年度	平成29 2017	平成30 2018	令和元 2019	令和2 2020	令和3 2021	令和4 2022	令和5 2023	令和6 2024	令和7 2025	令和8 2026
1 予備設計		▶									
2 事業評価 基本設計			▶								
3 用地取得 造成工事				▶							
4 詳細設計 浄水施設・配水池工事							▶				
5 関連施設工事 (管路、水源)							▶				

供用開始
予定

一般会計 111億8218万円 始動

(前年度比2.2%減)



歳入…主要をなす税収において、コロナウイルス感染症の影響が想定より少なかったため増額となったが、コロナ禍の前と比較すると、依然として落ち込んでいる。

歳出…松前中学校改築工事の完了などにより減額となったが、障がい者福祉をはじめとした社会保障関係費が増加し、厳しい状況となっている。

こうした財源不足に対応するため、可能な限り地方債を充当するとともに、財政調整基金から繰入れを行うことで何とか当初予算編成を行った。しかし、補正予算以降の財源については、厳しい状況が予想される。

町債にも注目!

令和3年度 現在高見込 A	令和4年度償還額		令和4年度 借入見込額 C	令和4年度末現在高見込額 (A-B)+C
	元金B	利子		
131億2783万9千円	10億3230万1千円	5094万6千円	14億8760万円	135億8313万8千円

借入見込額のうち1億円以上のもの

白鶴保育所改築事業	4億9450万円
臨時財政対策債※	3億9700万円
聖浄苑負担金	1億2250万円
筒井地区雨水対策事業	1億2060万円

※財源不足を補てんするため、地方自治体が特例として発行する赤字公債

うち令和3年度繰越分 9120万円
令和4年度の借入見込額は 13億9640万円

町債(借入金)について町民1人当たり置き換えると、今年、4万6235円を借り入れ、元金3万4180円(利子を含めた3万5867円)を返済する。しかし、今年度末にはまだ元金44万9743円が残っており、これを返済しなければならない。ということです。

「生きる喜び あふれる まち まさき」を目指した 令和4年度の主な事業

第5次松前町総合計画 5つの基本施策

◎は新規事業

① 安全・安心な生活環境づくり

◎節電を推進する省エネキャンペーン

・町内全域の街灯のLED化

・第8分団消防詰所の建設準備

・消防団設備の充実強化

・防災対策
(防災用監視カメラの増設、
高潮ハザードマップの作成等)



② 笑顔で暮らせる健康づくり

◎介護基盤整備補助

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため特別養護老人ホームの居室に簡易陰圧装置設置に対する補助)

◎姉妹都市健康交流

(北海道松前町との健康づくりを通じた交流)

・福祉センター
外壁補修工事

・白鶴保育所改築
(年度内に新園舎本体完成予定)

・二名保育所の解体

・障がい者(児)の自立と社会参加への支援

・ワクチン接種をはじめとする新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策



③ 豊かな心を育む人づくり

◎通学路安全対策推進モデル地域研究
(松前町通学路安全対策実践委員会の設置)



◎校務支援システム導入

・歴史民俗資料室の整備

④ 活力あふれるにぎわいづくり

◎新田湛水防除施設
水位監視カメラ設置

◎中小企業振興
(松前町中小企業
振興審議会の設置)

・まさき夏祭り支援
(まさき音頭の会場を「恋泉通り」へ変更)

・「義農大賞」表彰イベント

・工場等設置奨励
(雇用・就労環境整備のため、
条例に基づき東レに対して奨励金を交付)



⑤ 快適で暮らしやすい基盤づくり

◎宅内配管工事費補助

◎江川住宅外壁改修工事

◎地域公共交通の活性化及び再生の推進
(地域公共交通活性化協議会の設立)

・筒井地区及び塩屋地区雨水対策

・木造住宅耐震化促進

・松前駅前広場整備

予算決算

令和4年度 当初予算

◎総務部所管

問 義農大賞事業企画運営委託料75万円を一社に全額払うのか。また、委託料の内訳は。

答 今年度、プロポーザルにより南海放送と契約し、委託料75万円を支払うようになる。

問 参考資料に委託料の内訳は書くべきである。南海放送にいくらか委託しているのか、能の先生にいくら払うのかは分かっているはずだ。

答 予算書、参考資料の作り方であるが、内訳までは記載していない。予算書上には表れない。

意見 予算書に、金額が表れないのはおかしい。積算したから75万円が出ている。見積書が出ているということとは「こういうものを使う」というものが当然あるはずだ。もっと詳細に記載してほしい。

問 南海放送が75万円から能の謝礼、賞金などすべてを出すのであればこの委託料でいいと思うが、能の謝金は町から出すのであれば委託料が変わってくる。委託先が一括ですべて

筒井地区の浸水被害軽減に向けた雨水貯留施設整備など 安全・安心な生活と快適な暮らしに関わる予算を可決

するのかわ、はつきりさせれば納得されるのではないか。

答 謝金も賞金も南海放送が払う。一括して南海放送に委託している。能の費用は式典費用に含まれている。その部分を確認し、出せる範囲で出したい。

問 下水道事業繰出金の使い道は。また、借金の返済期間は。

答 大部分が地方債の償還費用である。下水道事業で工事を行い、地方債を発行する間は償還が発生する。

問 財政不足に対応するため財政調整基金の取り崩しを予定しているが、来年度の積立見込額は。

答 令和3年度末現在見込みが7億2187万円。来年度に2億4000万円を取り崩し、利息分を積み立てると、令和4年度末現在で4億8188万円を見込んでいます。

問 地方債残高が増えているが、どのように考えているのか。

答 令和4年度末現在の見込みで、臨時財政対策債を除く地方債は約78億8000万円。なお、臨時財政対策債の制度が始まる前と比べると減額している。

地方債を借りる場合は償還金に対して出来るだけ交付税措置があるものを選ぶ努力をしている。結果的に実質公債費比率は8%から9.1%。早期健全化基準は25%で、健全な状態である。

問 カーブミラー修繕整備費を計上しているが、見込み件数は。

また、定期的に点検を計画しているのか。

答 令和2年度実績で59件の整備を行った。

点検期間に関する規定はないが、一斉点検を6年に一回実施している。

意見 今後、住民の要望が多く上がるようであれば、定期点検頻度の見直しを。

問 第8分団消防詰所の建築業務設計委託料は、第9分団に比べ増額している理由は。

答 第9分団は保育所跡地を利用した。一方、第8分団は土地を購入する必要があるため増額となった。

意見 消防団詰所は5か所目になる。これまでに建設した各詰所を消防団員に見てもらい、どのような詰所がいいか決めるようにすれば設計費用も安くなるのではないか。候約する努力をしてほしい。



4月23日(土)開催!



令和4年度 夏祭り全体図(案)

◎産業建設部所管

問 まさき音頭の会場変更に伴う交通規制周知の経費が高い。チラシはどこに配布するのか。

答 会場が恋泉通りに変更することに伴い、多くの箇所を封鎖し、規制の時間帯も増える。

問 既存のチラシでは盛り込めないことから、別に作成し新聞等の折り込みに入れ、広く町内外の方に知ってもらいたいと考えている。

答 テレビ、ラジオCM各20回は必要なのか。

問 道路の交通規制を行うことから、万全を期すためCMを制作し、周知と安全対策の徹底を図りたい。

答 なお、今年度開催し、交通渋滞の状況などの結果を踏まえ、来年度以降、周知にかかる費用を検討する。

問 産業振興育成対策事業の放置艇処理事業補助金について、個人所有の放置艇を廃棄するために、税金を使うのはどうなのか。

答 個人に対し県や町が撤去の指導を行ったが、なかなか進まず、最終的に漁協から相談があり、町からも補助金を交付するようにした。

問 個人所有の放置艇に対して、町が補助金を交付して廃棄するというような、前例を作っていないのか。

答 過去に2回沈廃船の補助をして処分したという前例もあり、予算を計上した。

問 さらに、今回の放置艇については、護岸に陸揚げされており、まちづくり課が県の港湾管理の担当課に対して、速やかに撤去するよう要請を以前からしている。

意見 放置艇の処理に補助をするのであれば、今後、公平な対応を行うためにも、補助する基準を条例で定めから実施するべきである。

しかし、県内でも今回のような事案に対して行政代執行をしたことがないということで、二の足を踏んでいる状況である。

そういった中で、水産業の振興のために処分をするにあたり、コロナ禍で漁業の売上が減少し、生活が以前と比べてかなり厳しい状況であり、今回は漁協が先頭に立って処分をするという話をいただいた。

町としても、この機会に半分補助をして、きれいな環境の町のイメージアップ、水産業の振興のために計上したものである。



松前保育所跡地の地下に雨水貯留池を設置

問 筒井地区雨水対策事業について、雨水調整池詳細設計費は4500万円と高額だが、適正な価格か。

答 1万立方メートルの地下式雨水貯留施設に係る仮設費と地下水の対策工事を含んでいるため、適正であると考えている。

問 施設整備に掛かる概算費用は、基本設計の中で概算費用を積算するが、10億円は必要だと考えている。

答 令和4年度は、国からの補助金は交付されないのか。

問 浸水シミュレーションと基本設計は、国費の対象であった。

答 しかし、調整池の実施に関しては町債で実施する。通常の起債事業より財政措置が有利で、借りた金額に対する交付税措置率が7割である。

7

◎教育委員会所管

問 スクール・サポート・スタッフ配置による効果は。

答 教員からは、授業の準備や教材研究、子どもと対面する時間が増えたなど、効果があったと聞いている。

今後、補助が拡大されることがあれば増員についても前向きに検討したい。

なお、町で雇用している2名とは別に、県の職員2名を学校補助員として配置している。

問 岡田中学校空調設備更新に関する工事概要は。

答 故障している職員室、校長室、保健室の空調設備（室内機9台と室外機2台）を更新する。

意見 設備の更新については早めに学校と連携して計画的に予算確保をすること。

問 歴史民俗資料室の整備概要は。また、維持管理は。

答 資料室は、文化センター3階にある外国語学習室を展示場所とし、第三研修室を展示資料の収蔵場所として考えている。完成後は一般公開する予定である。

普段の管理は指定管理者が行い、

来場者への説明は松前史談会の方にボランティアという形をお願いする。

また、埋蔵文化財のみではなく、「おたた」や「義農作兵衛」を紹介するコーナーも考えている。

◎保健福祉部所管

問 産後ケア事業費の大幅増額の内訳は。

答 令和3年度の新規事業であり利用見込み予算を計上したが、実際は大きく上回ったため、前年実績を考慮して増額した。

問 地域公共交通計画の作成は住民の利益になるのか。

答 移動ニーズに対して公共交通サービスをどのようにしていくか。具体的には、ひまわりバス、また鉄道やタクシーといった公共交通に関する本町の今後をどうするかを考える計画である。

事業者だけでなく町民にとってもより住みよい町になるために作る計画と考えている。

※地域公共交通計画は、「地域にとって望ましい地域旅客運送サービスの姿」を明らかにするマスタープランであり、地方自治体が地域の移動に関する

関係者を集めて法定協議会での協議を行って作成するもの。

地域旅客運送サービスのイメージ



出典：「地域公共交通計画等の作成と運用の手引き（入門編）」p.3

問 コミュニティ施設整備について、地域の要望に対して全て補助している。財政の状況を勘案の上、優先順位を付けて計画的に行うことは考えていないのか。

答 来年度の要望調査時に、地域の修繕5か年計画を出していたかどうかを考えている。

公共施設総合管理計画等も参考にしながら、緊急性や過去の補助の回数等を加味して、補助事業の基準を作成中である。

8月頃に各区長に説明して、進めていこうと考えている。

◎出納局所管

問 低入札価格調査委員会に関して、報奨金を支払う委員がいるのか。

答 県の土木技術職員OBの方が設立したNPO法人、建設技術支援センターの方に委員をお願いしている。

低入札は5回分、公正入札は1回分を計上し、一回7400円を支払っている。

水道事業会計当初予算

問 耐用年数を過ぎていたため3項目の減価償却累計額が変わっていない。新しい施設が完成するまで、機械及び装置において、大規模修繕が発生する懸念はないのか。

答 現在、町の水道施設は、水源地区8か所、浄水場が2か所ある。既存の西古泉水源地は建設から50年以上経過しており、建物、機械、ポンプなどは耐用年数を過ぎていたが、その都度交換し、安定供給に努めている。最も重要なポンプは、3年程度は持ちこたえられる。

問 今後、施設整備のための大きな借金をすることになるが、返済計画は策定しているのか。

答 浄水場施設に39億3000万円、その他、西古泉水源地の改修費などに多額の費用が掛かる。水道の料金体系や経営の見通しの調査業務を委託する中で、返済計画をしっかりと立てていく。

令和3年度 補正予算

◎総務部所管

問 財政調整基金の積立は。

答 地方財政法の規定に基づき、令和2年度から3年度に繰り越しとなった実質収支額4億799万円の2分の1を積み立てる。

問 財政調整基金は3月末で7億2千万円余りとなっているが、実際にこれだけの積立ができるのか。

答 予算が議決されれば、予算額を積み立て、7億2187万円になる見込みである。

◎産業建設部所管

問 町道西75号線ほか路線道路予備設計業務の概要は。

答 宗意原交差点から宗意箱住宅を越え、北黒田の「なかむら歯科」へ通じる道路の予備設計を行っている。現在、予備設計の段階であり、着工時期等は決まっていない。

問 町営住宅の建替えを目的に予備設計を行っているのか。踏切等もあり、工事は難航するのではないのか。

答 宗意箱住宅の建替えも含め、地域の道路環境を改善し、住民の利便性の向上を図るため計画をしている。概要が決まれば議会にも報告したい

と考えている。

問 水路を暗渠にした場合の維持管理は。

答 道路区域として水路部分を利用し、道路管理者が管理をする。

◎教育委員会所管

問 北伊予小学校屋外トイレ改修工事で、補助金が出ないため工事を延期にしたことだが、予定していた補助金が出なければ改修工事は実施しないのか。

答 補助金の額が大幅に下がったため、今後どのような補助金を受けられるか、工事内容を含め改めて検討したい。

意見

繰越明許費として計上されており、減額補正をしていない以上、事業をすることは決定している。予算や補助金については内部のことであり、担当課で調整すべきである。

問 補助金が予定より約55万円減ると説明があったが、他の補助金申請をするのか、それとも自主財源で工事をするのか。

答 詳細について、国や県から回答が来いていないため内部での協議ができている。

国、県の回答を踏まえ方向性を考えたい。不足部分を自主財源でするかどうかも含め検討する時間をいただきたい。

意見 補助金が減額したから中止となると設計費用が無駄になる。しっかりと設計を立ててから設計をするべきである。



早期改修が望まれる北伊予小学校屋外トイレ

◎保健福祉部所管

問 非課税世帯に係る臨時特別給付金の進捗状況は。

答 住民税非課税世帯約3400世帯の83%の給付手続きが完了した。確認書提出期限は5月2日であり、それまでに手続きが完了するよう、周知徹底を図りたい。

総務産業建設

文教厚生

県東京事務所へ 職員を派遣で地域手当

問 派遣へのメリットはあるのか。
答 町の駐在員として、省庁との人脈づくりや企業誘致・物産販売促進等が期待できる。

問 目標設定と成果検証の考えは。
答 課内で協議を行ったが、数値目標の設定は難しい。

意見 成果だけでなく、派遣された職員がどのような活動を行ったか、町のために頑張っていることがわかるような活動内容を報告してほしい。

保育所、児童クラブ、 幼稚園職員の処遇改善へ

問 処遇改善措置は、政府の経済対策以降も続くのか。

答 交付金は9月まで決定しているが、それ以降も社会情勢が変わらない限り続くと考えている。

通学路安全対策 実践委員会を設置

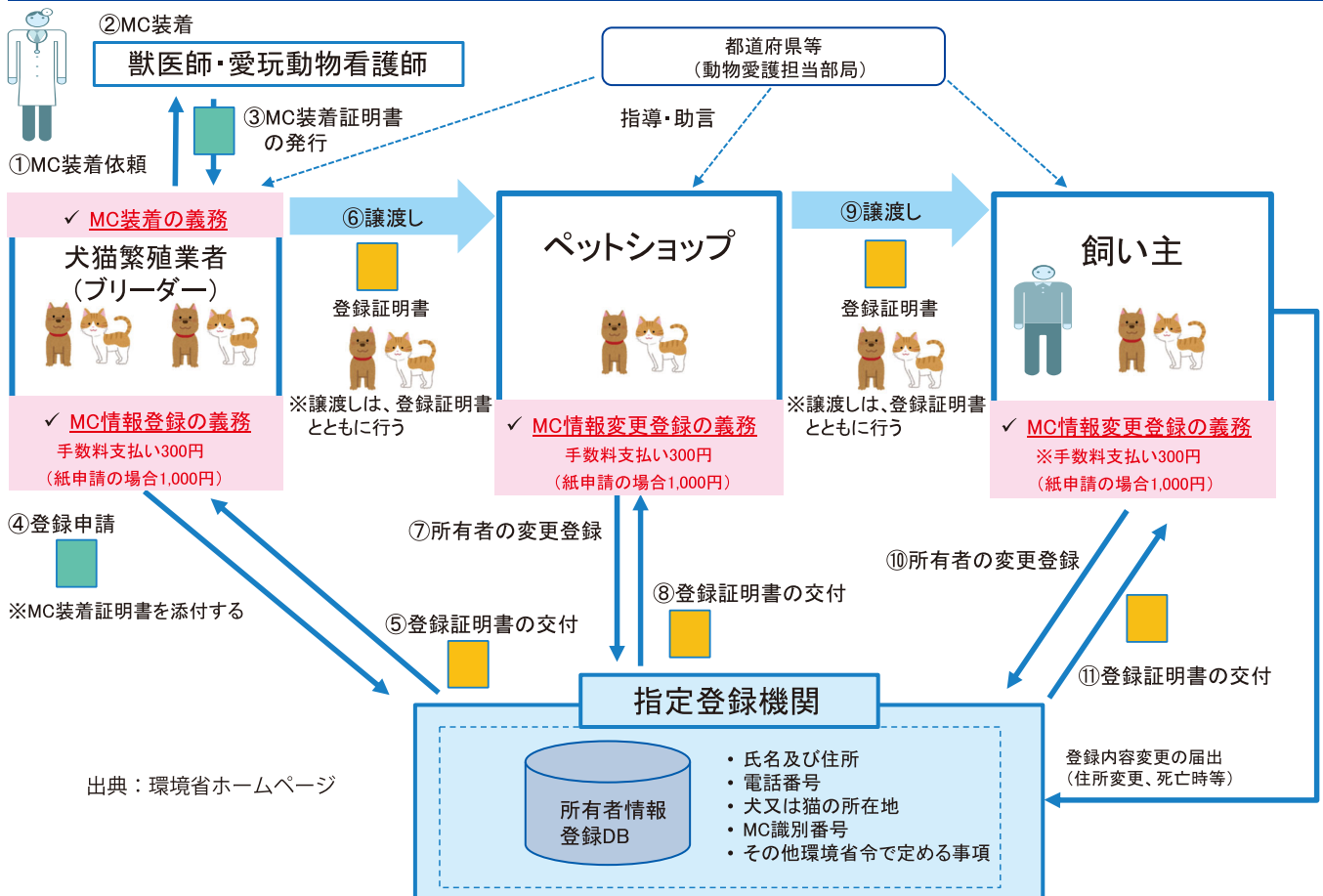
問 町では審議会の女性登用目標を令和5年度までに50%と掲げているが、委員会の女性比率は低いのでは。
答 女性委員を選定する方法を考えていきたい。

犬、猫にMC装着制度 始まる

◎マイクロチップ装着制度とは、令和4年6月1日からブリーダーやペットショップ等で販売される犬や猫について、マイクロチップの装着が義務化され、飼い主になる際に登録が必要となる。



犬猫所有者のマイクロチップ装着・情報登録の流れ(販売ルート)





一般質問

4議員が登壇

◆赤字項目を掲載しています。

村井 慶太郎 議員 (12ページ)

- ◆個に応じた教育及びデジタル教科書導入の考えは。



住田 英次 議員 (12ページ)

- ◆ホッケー場人工芝からのマイクロプラスチック流出への対策は。
- ◆町内の中小河川の維持管理状況は。
- 松前ひまわり保育所の借地買取りの考えは。



藤岡 緑 議員 (13ページ)

- ◆自主防災会組織の見直し(有事の際に機能するかなど)が必要では。
- 国の学校支援員配置補助の方針に対する町の考えは。
- コロナ禍における事業者への相談窓口等の支援策は。



渡部 恵美 議員 (13ページ)

- ◆人・農地プランの結果と課題及び本町の農業の将来方針は。



一部事務組合予算

伊予市松前町共立衛生組合 塩美園

総額 2億776万円

- 分担金及び負担金 1億9773万円
(内松前町分 1億4978万円)
- 活性炭の交換2年に1回 600万円

伊予地区ごみ処理施設管理組合 伊予地区清掃センター

総額 4億1507万円

- 分担金及び負担金 3億3997万円
(内松前町分 1億5963万円)
- 松山ブロックごみ処理広域化の検討

伊予市・伊予郡養護老人ホーム組合 和楽園

総額 2億8936万円

- 分担金及び負担金 1億5546万円
(内松前町分 7778万円)
- 出身地別措置者数(令和4年3月1日現在)
松前町 … 17人 伊予市 … 13人
砥部町 … 3人 組合外 … 8人

伊予消防等事務組合 各消防署及び聖浄苑

総額 22億6300万円

- 分担金及び負担金 20億2737万円
(内松前町分 6億1019万円)
- 斎場「聖浄苑」建替え事業

※1万円未満は切り捨てて表示しています



村井 慶太郎 議員

問 「浮きこぼれ」※問題解決のため、飛び級はできないのか。

答 義務教育においては、学校教育法により飛び級制度の導入はできない。優秀な児童生徒に対しては習熟度に応じた課題や学習活動の場を作っていく。

※「浮きこぼれ」とは、学校において高い学力や能力を持つ児童生徒が授業内容に物足りなさや疎外感をもつ状態。

問 授業についていけない児童への学習支援の考えは。

答 学力格差を解消するために、学級を複数教員で指導するティームティーチングや少人数指導の授業を取り入れている。今後、GIGAスクール構想の推進は学力の格差解消

の手段になると考えている。そこで、これまでの学校での実践とICTとを組み合わせながら、最適な学びを進める。また、教員OB、大学生による授業支援や学習相談を実施できないか研究していく。

問 デジタル教科書を導入する考えは。

答 町でもデジタル教科書の実証事業を行っている。「画面が小さい」などの課題や国の動向を見ながら対応を検討していきたい。なお、教科書の持ち運びによる負担軽減にも弾力的に対応できるよう学校に指導していく。



タブレット学習もスーイスイ♪

意見 本町の「教育の町」宣言にふさわしい、誇れる独自の取組を期待する。



住田 英次 議員

問 ホッケー場の人工芝による環境への影響は。

答 海洋へのプラスチックごみの流出が深刻化し、海の生態系を壊す原因となるなど対策は急務である。本町のホッケー場は供用開始から年数も浅く、状態も良いため、人工芝の破片の流出量は今のところ少ないと考えている。しかし、今後は環境問題への配慮が必要であると考え、流出を防ぐための対策を講じていきたい。

問 町内の中小河川の維持管理について、①台帳などの整備状況は。②川の草や泥の除去への対応方法は。③地域住民やボランティアに川の管理を委託する『アドプト制度』の活用のか考えは。

答 ①河川管理者は河川法により河川現況台帳を調整・保管することとされているが調整できていない。早急に取り組みたい。

②河川の見回りは定期的に監視を行い、出水期前後の河川パトロールで状況把握に努めている。流れを阻害する樹木や堆積土砂を発見した場合は、河床掘削工事等を必要に応じて実施している。

また、近年の豪雨による水害リスクの増大に備え、昨年12月に『中予圏域治水対策連携強化プロジェクト』を策定し、流域内の関係者が多様な対策を講じ、浸水被害の軽減を図ることとしている。

③『アドプト制度』は経費の削減や地域住民の意識向上につながる。しかし、本町の河川では土の堤防が無く、除草する区間も短いためなじまないと考える。



ホッケー場（人工芝競技場）



藤岡 緑 議員

問 町内23地区の自主防災組織は結成後すでに10年以上たち、自助・共助として地域防災力強化につながっているか。

答 本町では、平成16年度から各地域へ組織づくりを働き掛け、組織の重要性の普及啓発や結成方法やその後の運営方法などの説明を行い、県からの補助事業の活用で防災用資機材を各組織に貸与している。

平成23年度からは、町内全地区の自主防災会の組織で構成される連合会が設立され、情報提供や防災知識の普及啓発に努めている。

今後更に広報やHPを通して、町の取組の周知や継続した組織の活性化を図り、地域防災力向上につなげていきたい。



更新も必要では？ 防災用資機材

問 町が受講費用を全額負担する養成講座により資格を取得した防災士が、現在185名いる。地区の自主防災会と連携した活動ができているのか。

答 自主防災会連合会や各地域の防災士に対しスキルアップのための研修や専門家を招いての講演、町職員の出前講座なども行っている。防災士には、その知識、経験を活かし防災訓練の立案・指導を行うなど自主防災会と連携し住民の災害対応能力の向上を図っていただきたい。

問 自主防災会設立時に貸与した防災用の資機材の更新は。

答 現況調査を行い、今後の自主防災組織活動に必要となる資機材については、更新を検討したい。



渡部 恵美 議員

問 「実質化された人・農地プラン」作成の進捗状況、また結果と課題は。

答 全13地区の作成が完了し、耕作者不在となりうる農地の85%に将来の耕作者となる75の中心経営体（平均年齢59.7歳）が位置付けられた。5年後にプランの見直しを行い、借り手不在が課題となった狭小農地にも、中小規模の農家に将来の耕作者になつていただくよう調整をしていきたい。

問 本町の農地の集積率は。

答 県内2位であるが、国の目標には達していない。農地の維持管理と遊休農地が増加しないためにも、引き続き取り組んでいく。



レタスから枝豆へトンネルを再利用

問 今後の農業の将来方針について、どう考えているのか。

答 本町の農業従事者の平均年齢は70歳と高く、農業における一番の課題は担い手の確保である。農業振興施策に取り組むために、若手農業者検討会議において意見を集約していく。

また、認定農業者や認定新規農業者の確保、集落営農組織設立の促進を図っていきたい。農地の集約化を進め、作業効率の向上とコスト削減により、農業所得の向上を目指し、農業委員会と連携して農地利用の最適化に努めていく。

町民の声

情報化社会に思う

神崎 昭和の女学生

それにしても世の中の変化のなんと激しいことか。学校で全員にタブレットが配られていると知り驚いている。私の子どもの頃は、辞書を片手にノートと鉛筆で勉強したものが…。

このインターネットの時代だからこそ、松前町から日本全国、世界へとどんどん発信してほしい。そして

て各地の良さも吸収しよう。義農大賞、作兵衛翁の創作能、ホッケー日本代表合宿…素晴らしい取組に加え、更なる進化を期待する。

その一方で、ネットって何だ？と途方に暮れる方々への細やかなバックアップを町にお願いしたい。ワクワク予約や確定申告に困った高齢の方から「役場に行ったら職員が親切丁寧に教えてくれたんよ。」との言葉を聞き、ホッとしている。

ワクワクと不安。私もスマホを睨みながら、必死でこの時代の波にしがみついている。

『町民の声』をお寄せ下さい

次号議会だよりの掲載の締切りは7月末です。300字程度で必ず名前・住所・連絡先・ペンネーム(希望する場合)をお書きください。(投書多数の場合は、広報委員会で決定)

**【宛先】〒791-3192 松前町筒井631
議会広報常任委員会「町民の声」係
◆Fax 985-4148◆**

メールは、町のホームページからタイトルに「町民の声」と入力の上「議会事務局」へお送りください。

【次回定例会の予定】

6月7日(火)～20日(月)

一般質問 6月13日(月)

インターネット
配信やっています



応援席から

「整備された観客席のおかげで、ゆっくり観戦でき、応援にも力が入った。」



選手から

「久しぶりの試合で緊張したが、楽しくプレーすることができた。」「ホッケー日本代表から教わった技を、試合で発揮することができ嬉しい。」

表紙から一言

編集後記

私たち議員は毎年、町内での式典や地元行事などに招かれていたが、それもコロナ禍で参加が制限されている。現状が見えにくくなり、とても残念なことである。地元の自治会でも会が開けず書面による連絡で済ませるなど、ますます隣近所との関係が希薄になり、運営には苦勞している。

周りの人との関わりが減ったことによる弊害は、今後何らかの形で徐々に現れてくるだろう。そしてコロナ禍の後、以前のよいうな生活に戻すにはそれなりの労力があることをお互い覚悟しておく必要があるのではないだろうか。(住田 英次)

議会広報常任委員会

- 委員長 稲田 輝宏
- 副委員長 曾我部 秀司
- 委員 住田 英次
- 委員 田中 周作
- 委員 影岡 俊範
- 委員 渡部 惠美
- 委員 西村 元一

